



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬
(コード番号 3034 プライム市場)
問い合わせ先 広報部長 白 国 宏 基
T E L 03-6430-9060

クオール ESG 投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」及び 「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定

クオールホールディングス株式会社（東京都港区 代表取締役社長：中村 敬）は、継続的な ESG に対する取り組みが国際的に評価され、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された ESG 投資指数「FTSE JPX Blossom Japan Index」※1 及び「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」※2 の構成銘柄に 2 年連続で選定されましたので、お知らせします。

※1 「FTSE JPX Blossom Japan Index」

FTSE JPX Blossom Japan Index はグローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。FTSE Russell の評価はコーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野について行われており、FTSE JPX Blossom Japan Index の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしています。

※2 「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

クオールグループは、医療サービスを提供する企業として、経済的価値の創出にとどまらず、社会的価値の向上を追求することも重要な責務と考えています。サステナビリティ委員会を中心として、人権や環境課題に関する方針の策定・社内浸透をはじめ、健康経営の推進、気候変動問題への取り組み、ESG データの適切な開示などを継続的に推進してまいりました。

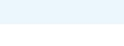
これらの取り組みが評価され、このたび FTSE Russell が提供する ESG 投資指数の構成銘柄に選定されました。今後もグループ全体で ESG に対する取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現へ向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、安心・安全な医療を提供するとともに、パートナーシップによって新しい医療価値を創出してまいります。

クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。

(<https://www.golhd.co.jp/sustainability/>)

ESG課題	マテリアリティ	重要テーマ	関連するSDGs	目標・KPI
- 気候変動対応 - 資源循環 - 廃棄物管理	気候変動への対応	- 環境負荷の低減 - 自然エネルギーの積極活用 - 医薬品の廃棄削減 - CO₂排出量の低減 - 電力使用によるGHG排出の削減		- 商品廃棄率の低減…2030年までに1.7%* - グループ全体のGHG排出量 …2050年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)をゼロ …2030年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)を2023年度比で42%削減 - レジ袋利用率…2030年までに8%以内/2050年までに5%以内* *対象：クオール側
- 地域社会への貢献 - ダイバーシティ推進 - 製品の品質と安全 - 人材育成の強化	地域のクオリティ オブ ライフ向上	- 雇用創出 - 医療従事者への支援 - 次世代への教育支援 - 高齢化社会への対応 - 地域コミュニティへの貢献 - 市民向け講座の実施		- 地域連携薬局数 - 専門医療機関連携薬局数 - 健康サポート薬局数 - かかりつけ薬剤師数 - 健康イベントの開催回数
	社員のクオリティ オブ ライフ向上	- ダイバーシティの推進 - 人材開発の促進 - ワークライフバランス推進 - 福利厚生、労働環境の多様化 - DX推進による人材の有効活用		- 女性管理職比率 2030年までに50%* - 男性育休取得率 - 二次検診受診率 - えるばし・健康経営の認定継続* *対象：クオール側
	持続的な医療によるクオリティ オブ ライフへ貢献	- サプライチェーン管理の強化 - 医療継続を実現する組織力の強化 - 総合ヘルスケア支援の強化		- 安否確認訓練報告率…100% - 止水板による浸水対策 - BCPの継続改善、実践力の強化 - 電子おくり手帳
- 透明性のある経営と情報開示 - コンプライアンスの徹底	新しい医療価値の創出	- パートナーシップ事業展開 - 医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出		- 電子処方箋利用率 - オンライン服薬指導実施率
	コーポレート・ガバナンスの強化	- 取締役会の実効性強化 - コンプライアンス強化 - 適切な情報開示と透明性の確保 - 情報セキュリティの強化 - BCPの確立		- 社外取締役数 - 女性取締役数 - 取締役会評価点数

クオールグループが掲げる6つのマテリアリティ（重要課題）

【本件開示に関するお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

Tel : 03-6430-9060（お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時）

以 上